

2018/1/31-2

うときゅういっきの英語夜話（ことば夜話）

万年筆（fountainpen）



英語で、万年筆のことを「fountainpen」と言います。

学校では、万年筆は英語で、ファウンテンペンと言い fountainpen と書きます、とだけ教えて「みなさん、覚えてくださいね」というだけのようです。

しかし、なぜ、万年筆を英語で「Fountain-pen」というのかをその時、一緒に教えてくれると、もう少し面白いかもしれません。

因みに

Fountain は

汲（く）めども尽きせぬ、湧き出ずる「泉」の事です。

もちろん Pen はペン、筆です。

では、なぜ万年筆のことを汲めども尽きせぬ泉に当たる

Fountain と呼ぶようになったのか？

それは、ペンの歴史を紐解くとわかるんです。

昔ペンは、インクツボに入ったインクに羽ペンのペン先を浸して、書いていました。

羽ペンですから、つけた羽先にインクの溜め置きが出来ず、ちょっと書いては、インクツボにちょんちょん、ちょっと書いては、また、ちょんちょんと羽先を浸けていたわけです。

なので、とっても面倒くさかったのです。

ところが万年筆タイプができると、ペンの中にインクの溜め置きができるようになったので、この頻繁にしなければならなかった、羽先ちょんちょん作業が大幅に軽減されてとっても楽になったわけです。

それで、いちいち羽先をつけなくていい、この泉のごとく湧き出るインクのペンを

「泉のペン」すなわち「Fountainpen」と呼びならわすようになったという訳です。

そうして、その日本語の訳語が「万年筆」

つまり、泉ではないのですが「いつも」の「万年」、それと「鶴は千年、亀は万年」の「万年」を付けて万年筆と訳したのでしょう。

どうでしょう？少しは英語やことばに興味がわきましたでしょうか？